

技術・家庭科研究部会

前進！ ～新学習指導要領・関プロ神奈川大会～

横浜市立汲沢中学校長 田邊正彦



令和元年度も引き続き神奈川県公立中学校教育研究会技術・家庭科研究部会（以後県技・家研）の会長を仰せつかりました、横浜市立汲沢中学校長の田邊正彦と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

5月の川崎市で開催されました県技・家研の総会においては、多くの会員の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。今年度は、文部科学省調査官上野耕史様と丸山早苗様にお越しいただき、それぞれの分野にてご講演をいただきました。大変有意義な時間だったと思います。今後とも本研究部会へのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、新学習指導要領の移行も始まっています。本教科は、指導内容に大きな変更はないものの、「社会に開かれた教育課程」「カリキュラムマネジメント」「主体的で対話的な深い学び」「資質・能力の三つの柱」など様々な見直しをしなければなりません。

今後は、評価・評定についての様々な発信があると思います。情報を集め、そして精査し、それぞれの研究会等で話題にしてください。まだまだ不明な点もありますが、評価にあたっては、必ず生徒に還元できる評価。つまり客観的に把握でき今後の学習の方向性を見出せる評価と教員が授業改善に資するような評価ということが求められるかと思ひます。また、題材についても再考する必要も出てくると思ひます。令和元年度の関プロ大会は、茨城県で行われます。ご都合がつけば、分科会だけでもご参加いただき参考にしてみられたいと思ひます。すでに各学校では、3年間の見通した指導計画や授業改善に取り組まれているかと思ひます。あとは、教科書が決定してからの1年間が重要になると思ひますが、それまでにはできるところから、取り組んでくことも大切です。

次に、「全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ」についてですが、今年度は11月2日（土）に横浜地区の横浜市立港中学校の施設をご利用させていただき開催いたします。

この教育フェアは、本教科の授業を通して生徒たちが身につけた力を発表することができる貴重な機会となっています。多くの方にご来場していただき、当日の生徒たちの活動から、取り組む姿勢や作品の完成度をご覧いただければと思ひます。また、実践的、体験的な学習や生活の中から課題を見出し、それを解決する力を育てる本教科の果たす役割の大きいことを、多くの方にご理解いただける場となればと考えております。そのためにも大会を盛り上げていただきたいと思ひます。

次に、令和2年（2020年）には、関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 神奈川大会（以降 関プロ）が開催されます。平成29年度から関プロ推進委員会を立ち上げ、回を重ね各地区の取組が深まってきました。大会当日までは時間はあるように思ひますが、集まる機会や話し合う時間などを考えると、短いものです。各分科会におかれましては、限られた時間となりますが、是非充実した取り組みとなりますようによろしくお願ひいたします。

結びに、本会は会員の皆様のご協力の下、運営が成り立っております。働き方改革や部活動改革等、様々な改革が行われていきますが、教員としての本業である教科の研究活動は大切であります。同じ教科だからこそ共有できることも多いかと思ひます。どうか自身のスキルアップのためにも研究会へのご理解と積極的なご参加をお願いしたいと思ひます。皆様方の英知を結集し、今年1年よろしくお願ひいたします。

各委員会の活動について

〈研究委員会〉

技術分野

家庭分野

委員長 公家 大地 委員長 金子 瑞江
(川崎市立東橋中学校) (川崎市立向丘中学校)
副委員長 柿澤 篤史 副委員長 政野 千絵
(相模原市立小山中学校) (相模原市立旭中学校)

次年度入学生より新学習指導要領による学習が始まります。実施に向けて各学校の教育活動の質の更なる向上が求められます。

そのため、各地区研究成果の収集と情報発信を通して、「主体的・対話的で深い学び」のより一層の実現に向けた授業改善を活性化していきたいと思えます。

1年間よろしくお願ひします。

〈フェア委員会〉

委員長 内田 修平
(横浜市立新井中学校)
副委員長 團野 隆志
(川崎市立有馬中学校)

今年度の「全国中学生創造ものづくりフェア in かながわ」は、横浜市での開催となります。港中学校を会場として準備・運営を行っていきます。県内の先生方には、運営スタッフとしてのご協力と、フェアへのより多くの作品の出品と生徒の参加をお願いいたします。

- ・県フェアの企画・運営
- ・関東フェアと全国フェアの運営スタッフとして参加

〈会報委員会〉

委員長 竹田 慎
(横須賀市立不入斗中学校)
副委員長 近藤 雅美
(藤沢市立鶴沼中学校)

技術・家庭科研究会の事業計画、関ブロ茨城大会やものづくりフェアの様子などお伝えしていきます。

- ・会報94号の発行
- ・会報95号(関ブロ大会報告、ものづくりフェア報告含む)の発行

県内、県外の情報をお伝えします。今後の指導の参考にしていただければと思います。

1年間よろしくお願ひします。

〈調査 Web 委員会〉

委員長 山田 篤史
(山北町立山北中学校)
副委員長 関 麻美
(横浜市立本牧中学校)

本年度も県下中学校から職員の配置状況や授業形態、指導要領に関するアンケートを取らせていただき、先生方の授業実践の参考になるデータを作成していきたいと思っています。

また、配置状況を集計したものを基に「技術・家庭科教育の人員改善」等のデータとして活用しています。より充実した技術・家庭科教育のためにご協力よろしくお願ひいたします。

- ・神奈川県技術・家庭科教育に関わる現状の調査分析を行う
- ・アンケートの質問事項の検討と集約
- ・全国中学生ものづくりフェア in かながわへのスタッフ協力

令和元年度各地区研究テーマ

	技術分野	家庭分野	
横浜	鶴見区	基礎学力の定着	
	神奈川区	「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善	
	西区	新学習指導要領実施に向けた教材教具について	
	中区	主体的に学習に取り組む態度に関する研究	
	南区	生徒の理解を深める魅力ある教材研究	
	港南区	技術・家庭科における ICT 活用の事例	
	保土ヶ谷区	新学習指導要領実施への段階的な取組	
	旭区	主体的で対話的な深い学びについての実践と検証	
	磯子区	アクティブラーニングの視点に立った授業について	
	金沢区	高齢者の生活の視点を取り入れた授業のデザイン	
	港北区	「授業の充実に向けて～計測制御についてはじめてのプログラミング～」	「授業の充実に向けて～高齢者とのかかわり方～」
	緑区	新学習指導要領を見据えた学習題材の検討	
	青葉区	安全かつ効率的に授業を行うための環境づくり～誰もが安全に行える授業環境～	
	都筑区	生徒が主体的に活動するための環境づくり	高齢者とのかかわり方
	戸塚区	新教育課程に向けた各校の取組	
	栄区	新学習指導要領を見据えた学習題材の検討見据えた授業づくり	
泉区	生徒の意欲を引き出す授業の工夫		
瀬谷区	新学習指導要領に向けたカリキュラム作り		
川崎	よりよい生活をもとめ生活を工夫し創造する生徒の育成 ～自ら探求し、知識技能を活用して実践から学ぶ～		
横須賀	学びをつなぎ社会の変化に主体的に対応する力を育む学習指導～技術・家庭科の特性に応じた「見方・考え方」を働かせる授業実践～		
三浦	三浦大根栽培について		
逗子・葉山	新学習指導要領に向けた授業実践		
鎌倉	汎用的資質能力の育成を目指した技術・家庭科の学習～小中の学びの連続性を意識した基礎的・基本的な知識及び技能を育てる学習指導の工夫～		
茅ヶ崎・寒川	学習意欲を高められる教材教具と評価方法の工夫	学びをつなぎ汎用的資質能力の育成を目指した学習指導	
藤沢	新学習指導要領について～新学習指導要領に基づいた実践授業～	問題解決能力育成を目指す授業づくり	
厚木	新学習指導要領実施に向けた題材の研究	生活を工夫し、改善する能力と態度の育成～食育の推進を通して～	
大和	関東ブロック大会提案に向けての取り組み	新学習指導要領にもとづいた授業研究	
海老名	魅力ある教材・教具の開発		
座間	進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる 学習指導と評価の工夫	自分なりに生活を充実、向上するために進んで実践する能力を育てる	
綾瀬	教材開発と指導法・評価に関する研究	意欲を高める教材の開発	
相模原	発達の段階に応じた材料と加工の技術における指導の在り方	新学習指導要領実施に向けた、指導計画・題材作りの検討	
平塚	3年間を見通した指導計画の検討	新学習指導要領の年間指導計画と評価の検討	
中郡	情報に関する技術領域におけるプログラミング学習題材についての研究	安全でよりよい住まい方に関心を持ち、自らの課題に対し、 工夫して対応しようとする生徒の育成	
伊勢原	3年間を見通した指導計画・評価の検討と学習指導の工夫・改善	新学習指導要領を見通した学習計画の作成及び 学習指導と評価の工夫・改善	
秦野	移行期における新学習指導要領の年間指導計画の見直しと試行	安全で、よりよい住まい方に関心を持ち自らの課題に対応できる 生徒の育成	
足柄上郡	学びをつなぎ未来へつなぐ生徒の育成		
南足柄	題材における指導方法・指導内容の工夫		
小田原・足柄下郡	情報の技術～新学習指導要領に準拠した指導法と評価についての研究～	持続可能な社会の構築に向けて、知識や技能の定着を図り、 活用できる学習指導のあり方	

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会

令和元年度 事業計画

(No 月/日 開始時刻 内容 会場)

- 4/ 6(土) 14:00 全日中フェア委員会 東京都足立区立第七中学校
- 4/ 9(火) 15:00 第1回事務局会 かながわ県民センター
- 5/ 21(火) 15:00 第2回事務局会 川崎市立川崎高等学校附属中学校
- 5/24(金) 13:30 第49回県技・家研総会
川崎市立川崎高等学校附属中学校
- 5/25(土) 14:00 全日中理事研修会 女子栄養大学
- 5/30(木) 15:00 第3回事務局会 かながわ県民センター
- 6/ 7(金) 13:30 関プロ理事研修会 茨城県水戸市
- 6/13(木) 14:30 第1回常任・合同委員会 関プロ推進委員会 県立近代文学館
- 6/27(木) 15:00 第4回事務局会 かながわ県民センター
- 7/ 9(水) 14:30 第2回常任・合同委員会 関プロ推進委員会 県立近代文学館
- 8/ 3(土) 14:00 全日中フェア委員会 東京都内
- 8/ 6(月) 15:00 第5回事務局会 横浜市立港中学校
- 8/17(土) 9:00 臨時事務局会 神奈川労働プラザ第4会議室
- 8/17(土) 12:00 歴代部会長・副部会長会 横浜市内
- 8/22(木) 10:00 夏季研修会 かながわ県民センター
- 9/10(火) 14:30 第3回常任・合同委員会 関プロ推進委員会
かながわ県民センター
- 9/24(火) 第6回事務局会 かながわ県民センター
- 10/23(水) 16:00 第7回事務局会・フェア委員会 横浜市立港中学校
- 10/24(木)～25(金) 関プロ茨城大会 茨城県内
- 11/ 2(土) 全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ
横浜市立港中学校
- 11/13(火)～15(木) 全日中兵庫大会 兵庫県内
- 11/27(水) 14:30 第4回常任・合同委員会 関プロ推進委員会 県立近代文学館
- 12/ 1(日) 全国中学生創造ものづくり教育フェア 関東甲信越地区大会
長野市立篠ノ井西中学校
- 12/ 7(土) 14:00 全日中フェア委員会 東京都内
- 12/下旬 未定 第8回 事務局会 未定
- 1/上旬 未定 第9回 事務局会 未定
- 1/25(土)～26(日) 全国創造ものづくり教育フェア
足立区梅田地区学習センター
- 2/ 7(金) 13:30 関プロ理事研修会
ホテル横浜キャメロットジャパン
- 2/ 8(土) 14:00 全日中フェア委員会 東京都内
- 2/中旬 未定 第5回常任・合同委員会 関プロ推進委員会 未定

第58回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 茨城大会のご案内

1 研究主題

『未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
技術・家庭科教育』

2 期日

令和元年10月24日(木) 【理事会・全体会】
25日(金) 【分科会】

3 会場

- 〔第1分科会〕「A 材料と加工に関する技術」
つくばみらい市立谷和原中学校
- 〔第2分科会〕「B 生物育成の技術」
神栖市立波崎第一中学校
- 〔第3分科会〕「C エネルギー変換の技術」
日上市立助川中学校
- 〔第4分科会〕「D 情報の技術」
古河市立古河第三中学校
- 〔第5分科会〕「A 家族・家庭生活」
神栖市立神栖第二中学校
- 〔第6分科会〕「B 衣食住の生活 1(食生活)」
下妻市立下妻中学校
- 〔第7分科会〕「B 衣食住の生活 2(衣・住生活)」
取手市立取手第二中学校
- 〔第8分科会〕「C 消費生活・環境」
水戸市立石川中学校
- 〔第9分科会〕「教育課程」
ひたちなか市立田彦中学校

4 主催

全日本中学校技術・家庭科研究会
関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会
茨城県教育研究会家庭、技術・家庭教育研究部

5 日程

10月24日(木) 理事会・全体会

- 10:30～11:00 理事会研修会受付
11:00～12:00 理事研修会
12:00～13:00 全体会受付
13:00～13:40 開会式
14:00～14:50 研究発表・研究協議
15:00～16:00 指導講評
16:10～16:30 閉会行事

10月25日(金) 分科会1～8

- 9:00～ 9:30 受付移動
9:30～10:20 公開授業
10:40～11:00 開会式
11:00～12:00 提案発表・研究協議
12:00～12:20 指導助言
13:20～14:20 提案発表・研究協議
14:20～14:50 指導助言
14:50～15:30 閉会式

10月25日(金) 分科会9

- 9:00～ 9:30 受付移動
9:30～10:20 公開授業
10:40～11:00 開会式
11:00～12:00 提案発表・研究協議
12:00～12:20 指導助言
12:20～12:40 閉会式

6 大会参加費

大会参加費(資料代) 4,000円
昼食代 (希望者) 1,000円